

心臓超音波検査(Cardiac ultrasonography)

超音波検査とは、よく『エコー』と呼ばれているものです。

超音波と呼ばれる高周波の音波を体内へ発射し、その反射で臓器の形態や性状を見る検査方法です。レントゲン検査と異なり、被爆することがないため、繰り返し検査を行っても身体への悪影響がない検査です。

心臓超音波検査では心臓の形態(心房・心室の大きさ、形、壁の厚さ、弁の構造、心臓内の異常構造物など)、動き(心室の収縮と拡張、弁の開放と閉鎖など)をリアルタイムでみることが出来ます。

検査方法

上半身裸で検査用ベッドに側臥位になっていただきます。

ゼリーを塗布し、超音波を出すプローブを胸部にあてて検査を行います。

検査中は、肺や骨の影響を避けるため、呼吸の調節をしながら検査を行います。
(繰り返し5秒程度の息止めをしていただきます。)

侵襲的な検査ではありませんが、プローブを胸部に押し当てて検査をするため、少し痛みを伴うことがあります。我慢できない痛みがある場合は検査者にお伝えください。

検査時の注意点・お願い…

- ✚ 検査時は上半身裸で検査を行うため、着脱しやすい服装(上下分かれている服装)でおこし下さい。

検査時間

30～60分